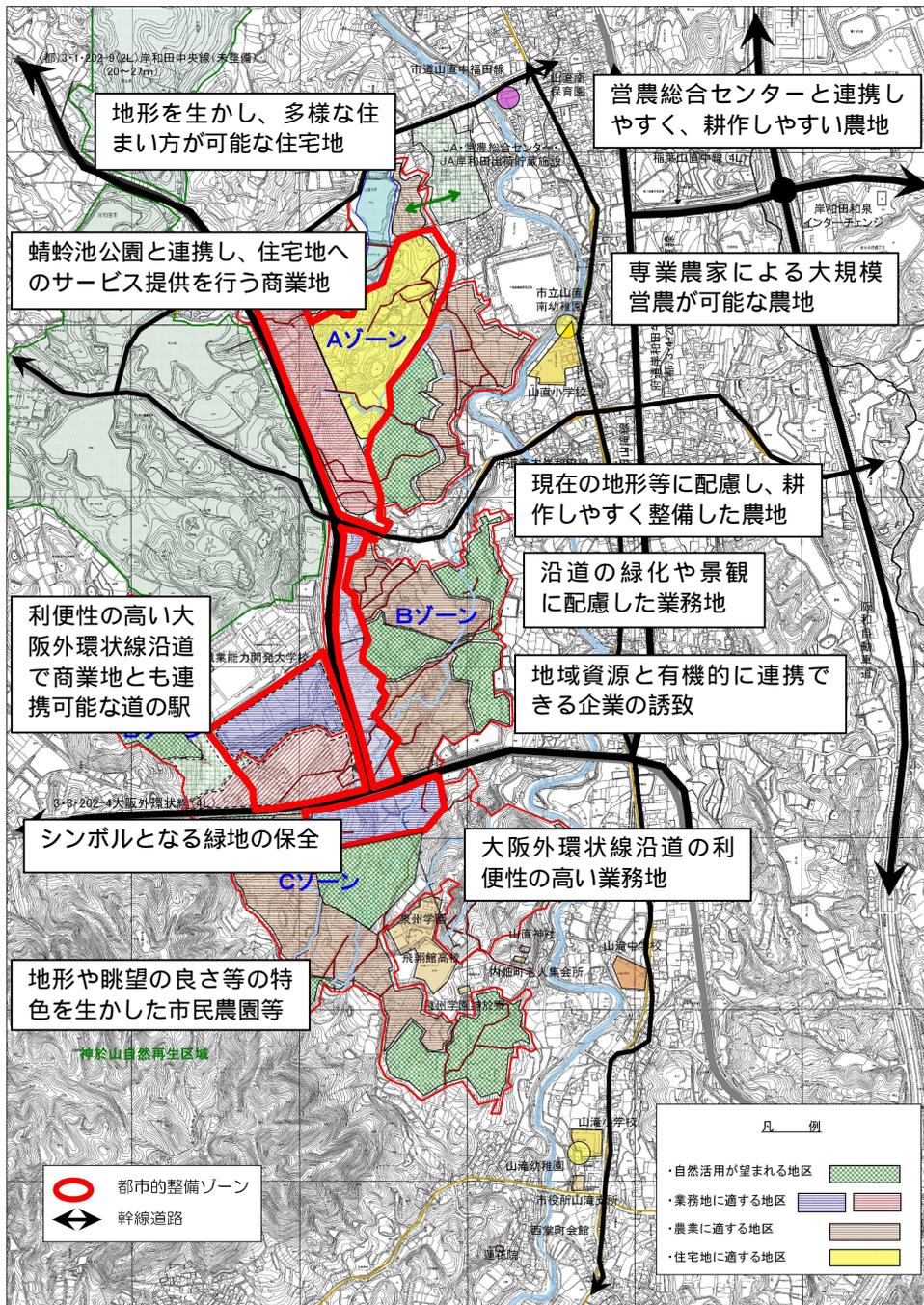


3 . 土地利用計画

(1) 宅地規模等の設定における土地利用の考え方

	土地利用の考え方など
農地	<p>《土地利用の考え方》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な目的に応じた農地を創出できるように、農道の整備や農地の集約を行いながら、以下の農地を誘導していく。 <ul style="list-style-type: none"> 専業農家による大規模経営が可能な農地 直売所向け少量多品目生産が可能な農地 企業による植物工場等が可能な用地 市民農園
住宅地	<p>《土地利用の考え方》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現況の丘陵地形を活かした多様な住宅地を創出していく。以下の住宅の立地を誘導していく。 <ul style="list-style-type: none"> 斜面地付き住宅：現況の斜面地形の活用 環境創出住宅：農地や菜園などが付いた住宅、 企業用住宅：業務地の従業員向けの住宅
商業地	<p>《土地利用の考え方》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地や蜻蛉池公園など地域資源と連携を行うことができる施設や地域に集まる人や隣接する住宅地へのサービスを提供する施設の立地を誘導する。 ・特に農業に関連した施設としてファーマーズマーケットやベーカリーショップ、カフェ、隣接して観光農園、ハーブ園等の地域イメージに合った施設を誘導していく。
業務地	<p>《土地利用の考え方》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務地では地域の産業動向をふまえながら、近年の立地動向による伸びている工業業種や、臨海部のように用水確保が容易でないことから、用水量の少ない施設あるいは非用水施設等の立地を誘導する。また、周辺地域や岸和田市全体と連携していく。
自然活用エリア	<p>《土地利用の考え方》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然環境を活かし、住民参加による自然環境保全や環境学習、多自然型公園等の利用、自然地形を活かした農的利用、神於山や蜻蛉池、道の駅など緑のネットワークとの連携を誘導していく。

(2) 土地利用配置方針



(3) 土地利用計画図

